

UN Women東京 News Letter

Vol.7

UN Women (国連女性機関) 日本国内委員会東京委員会

2013.3.29

UN Women東京委員会 2013年度 総会開催報告



UN Women東京委員会の2013年度総会は2月9日(土)午後1時から津田塾大学同窓会会議室にて開催された。開会あいさつに立った鷺見八重子会長から、会員のご支援とご協力によって年間計画が滞りなく行われ、この1年間で41名の新会員が誕生した旨の報告があった。議事に先立ち規約第17条4項に基づき、会員数353名に対して出席者35名、有効委任状150通、計185名となり過半数を満たしており総会は成立との宣言があった。

次いで規約に基づき総会議長・鷺見八重子会長を選出、フロアより書記:背戸民恵、天野尚子の両氏、議事録署名人:野瀬久美子、平野和子両氏を選出・承認して議事に入った。

はじめに総務から2012年度事業報告があり、出席者全員の承認を得た。次に会計、監事よりそれぞれ2012年度決算報告、会計監査報告があり、2議案が承認された。続いて総務より2013年度事業計画案が示され満場一致で承認された。また会計より予算案が諮られ、次期役員改選のための通信費や分担金について及び年間を通して会員増になったのはどのようなキャンペーンを行った結果なのか等の質疑に回答の結果、提出議案はすべて承認され議事終了となった。

2012年度 決算報告 (2012年1月1日～12月31日)

1. 収入の部

会費収入	864,000		
寄付収入	629,910	活動寄付	393,560
		寄付	236,350
募金	4,000		
事業収入	2,594,104	コンサート	1,990,000
		グッズ	566,104
		広報(資料)	38,000
雑収入	720		
利息	408		
前期繰越金	2,957,544		
合計	7,050,686		

2. 支出の部

事業費	1,447,006		
管理費	1,127,614	事務所費	636,000
		事務費	491,614
拠出金	1,065,430		
予備費	6,250		
分担金	75,000		
次期繰越金	3,329,386		
合計	7,050,686		



UN Women東京 2012年度 拠出金

1,065,430円

UN Women日本国内委員会

2012年度 拠出金

5,239,839円

2013年3月末 本部に送金



15分間の休憩の後、第67回国連総会に日本政府代表顧問として出席した鷲見八重子UN Women東京会長から記念講演「UN Womenの課題～私たちができること」と題し、はじめに映像(パワーポイント)や資料を使って国連のしくみの解説があった。ここで強調されたことの一つに、1956年に日本が国連加盟した翌年、国連総会および国連関係の国際会議等への女性の参加を強める目的で“国連NGO国内婦人委員会”(市川房枝初代会長)が設立され、国連関係会議への代表にNGOの女性を加えるよう申し入れた結果、第12回国連総会から毎年、国際的活動をしている女性団体から日本政府代表代理が派遣されることになったこと。また代表は経済社会理事会(ECOSOC)の諮問資格を有して、社会・人道・文化にかかわる第3委員会に出席、様々な議案の討議や意見交換の状況を持ち帰り、報告会が開催された。これによってさまざまなNGOの女性団体が国連や各国の状況を知り、情報を共有できるようになったとの話があった。

今年の第3委員会議長はスリナム国のヘンリ・マクドナルド大使が務めた。議案は9題*社会開発、*犯罪防止・国際薬物統制、*女性の地位向上、*子どもの権利促進と保護、*先住民族の権利、*人権の促進と保護、*人種差別撤廃、*民族自決権、*難民高等弁務官事務所に関する報告がされた。女性の地位向上に関するステートメントについては、日本からは以下のことを述べた。

- ① UN Womenの執行理事国として積極的に貢献。
- ② 昨年のCSW「自然災害とジェンダー」決議にある男女共同参画の視点をさらに強化。
- ③ 教育分野:「スクール・フォー・オールモデル」を展開し、2011年から5年間で35億ドルの支援を実施。

④ 母子保護支援モデル「エンブレイス」を通じ43万人の妊産婦の生命を救うことをめざす。

⑤ “人間の安全保障”では「インドネシアにおける人身取引保護と能力強化」プロジェクトを実施。

⑥ 開発援助:「アフガニスタン女性課題省の行政能力向上、貧困女性の社会的・経済的状況の改善」に関する支援。

10月11日には“国際ガールズ・デー”を記念しハイレベルパネル「女兒の早期結婚の廃止」が開かれた。ニジェールの活動家・Ghaicha Agaliは兄に助けを求めて避難所に行き、奨学金で学び早期結婚を裁判に訴えて「結婚年齢制策定」を実現させた。カメルーン活動家・ファビオラは15歳でCSWに参加し“Because I am a Girl”をキャッチフレーズに草の根の廃止活動をしている。ゲストスピーカーのデズモンド・ツツ大司教(南ア)は「女兒の早期結婚廃止のためには法律を活用しよう! (Apply your laws, please. No more early marriage!)」と呼びかけ、会場に「みなで力を合わせよう!」～「Yes!」の言葉を引き出したことが素晴らしい。女兒の早婚廃止に導くキーワードは「Stop」「Empower」「Education」であり、特に“Education”はどこの国でもキーワードの一つに入れて推進している。

★私たちができること・・・ミシェル・バチエレUN Women事務局長のスピーチを引用して、
 * 女性の政治参画: 具体的には女性議員をふやし、指導的地位に就く女性の数値を上げること。
 * 教育: 考える・発信力、国際感覚を養うこと。
 * 私たちの足元から、隣人から意識を変える草の根の運動、NGOの精神が大切である。
 と結論付けたことが印象深かった。



女性の活躍推進シンポジウム & 交流会 「女性はもっと活躍できる!」

2013年2月15日、女性就業支援センターで内閣府、男女共同参画推進連携会議とUN Women日本国内委員会共催のシンポジウムが盛況に開催された。第1部では女性のエンパワーメント原則WEP'sの視点から有馬利男氏と岩田喜美枝氏が対談され、民間の若手経営者育成のためのプログラムによる研修やWEP'sの促進と企業への働きかけの状況を通して女性力が求められ、役割拡大の必要性が熱く語られた。第2部のパネルディスカッションはコーディネーターの坂東真理子氏、3人のスピーカーより女性ならではの視点で多様な現場での環境づくり、仕事への取り組みと課題などが紹介された。終了後は参加者を交えて和やかな交流会がもたれた。



天満敦子の世界へ ようこそ～～



愛おしいストラディバリウスを手に～



数々のグッズに興味をもって～



小雨降る12月15日土曜日の夕刻から、津田ホールで開かれた天満敦子さんのコンサートは、素晴らしいものだった。400名の聴衆は、「トロイメライ」など誰もが知っているクラシックの小品から「ふるさと」ほか日本の歌曲までアンコールを含めて17曲に酔いしれた。感動の波が静かに押し寄せ、深いため息がこぼれるような穏やかな感激が、会場全体に広がった。終演の時もすぐには拍手をせずに、じっと余韻を味わう静寂が漂っていた。この日も、天満さんが愛おしむように手に抱えたのは、277歳になる名器ストラディバリウス。従順な妻のようにして25年間連れ添ったパートナーだと、あふれる愛情で表現し、雨の日はことのほか良い音色が出ると、うれしそうに語る。ピアノ伴奏をつけずに無伴奏で弾くのは、ヴァイオリンとの対話を孤独に楽しんでいるのだと言う。

こうしたご自身による解説が、曲の合間のショートトークでじっくりと語られたのも、とても興味深いものだった。通常のコンサートで演奏者が曲に寄せる思いを親しく話すことはあまりないだろう。お人柄がにじみでるようなゆったりとした話を聞き逃すまいと、身を乗り出して聴き入る。

2011年の東日本大震災以来、「弾くことは祈ること・弾いて祈る」を胸に、被災地を回るコンサートを開いており、明日も宮城県塩釜市に向かう予定だと。最後に引いた「ジュピター」がいちばん心に残る。「ジュピター」は自分とお客様を励ます曲、「アヴェマリア」は弾いていると思いがあふれ胸が熱くなる曲だとの解説。演奏者の気持ちというものを初めて知って驚くと同時に、そうした思いは聴衆に伝わっているなあとあらためて感激した。楽器と一体になり、いとおしむように弾く。時折、小さな布でそおとなでるように拭いてヴァイオリンを可愛がる仕草になる。曲が終わると、「できました！」という優しい表情で柔かく微笑む。



どうぞごゆっくり！

藍染のチュニックワンピースとハイヒールがいつものかっこいい定番のスタイル。「ぼんやりした暗いステージ、左指も4本の弦も見えにくい暗さが快感。譜面台もなく、舞台上にはポツンと私一人だけ。服は濃紺、奏者の顔と姿をなんとかして消したいというシャイなあがきで孤独に浸り、お客様にも私の音に浸ってほしいという願いがそのまま演奏にくっきりと表現されている。天満さんの静かな音楽と穏やかな人柄に触れ、名曲の心をそっと伝えるヴァイオリンの透明で美しい響きに魅了された楽しい一夜であった。

思い出が全部 失われたあの日

会員：鈴木千枝子

世界の人々に衝撃を与えた東日本大震災から2年・・・仙台市内のデパートで開催された展示会に赴いた翌日、気仙沼線の列車で帰路に向かった。どういうわけか、列車は志津川駅に15分位遅れて到着するという事だった。列車が柳津から陸前横山の中間に差し掛かった時、転覆するかと思うほどの大きな長い揺れを感じた。それは3月11日2時46分に突然襲った東日本大震災だった。レールはめちゃくちゃに曲がり壊され、成す術のなかった私は何とか気仙沼の二人の男性に助けられて車外に脱出した。

次の横山駅までの一里（4キロ）を雪の降る中、夢中で歩いた。横山駅からはJRが手配したマイクロバスで山側を迂回して荒町にある亡夫の従弟の家にやっと辿り着くことができた。地震後1か月にも亘る停電や断水の不自由な状況があったにもかかわらず、あの夜、泊めてくれた従弟家族の温かで親切的

真心に、今も心から感謝している。

私が命からがら逃げ延びている頃、南三陸町志津川は大津波に襲われていて、4年前に建てた思い出深い我が家はすでに流されていた。あの日、志津川の自宅にいなかった事、気仙沼線が15分遅れたことが不思議にも私の命を救ってくれたのだ。亡き夫と長年、築き上げた掛けがえのない思い出をいっぱい秘めた家も家財もすべて跡形もなく失った。今も、土地は沈下したままだ。人口1万人の志津川では、千人余の尊い生命が一瞬にして奪われてしまった。

いま私は夫が生前、娘のために建てた仙台近郊の岩切の家で暮らしている。以前から国際ソロプチミスト会員として女性と女兒に焦点を当てジェンダー平等とエンパワーメントのために活動が続けているが、縁あってUN Women東京の会員にもなることができたので、この生かされた命を大切にしたいと思っている。過ぎ去った穏やかな生活と故郷の美しい風景を思い起こしながら、復興を願いつつ前を向いて、努力を怠らない82歳の感謝と希望の日々をおくっている。

Song on International Women's Day



1977年の国連決議で「国際女性デー(3月8日)」が採択されて国連機関では毎年さまざまな関連イベントが開かれます。また各国の国内委員会やNGOでも多彩なイベントが開催されます。

昨年、国連総会会議場でUN Womenが支援してきた女性たちの物語をベースに女性の地位向上とジェンダー平等を歌詞にした世界の女性への応援歌「One Woman(一人の女性)」が国連機関としては初めて発表されました。



私たちは一人の女性
あなたは泣き 私はそれを聞く
私たちは一人の女性
あなたは傷つき 私も傷つく
私たちは一人の女性
あなたの希望は私の希望
私たちは輝く



その後、世界中から20人以上の歌手や演奏者が関わって収録・製作されました。

「One Woman」は今年の女性デーに合わせて発売され、UN Womenサイトやインターネットからダウンロードしたり購入することができ、収益はすべてUN Womenが実施する女性のエンパワーメント支援プログラム推進に充てられます。

今年の国際女性デーのテーマ「約束は約束：女性に対する暴力の根絶をめざし行動する時」を受けてUN Womenのミチエル・バチュレ事務局長は発信されたメッセージの中で「21世紀には加盟各国政府は署名した国際条約や合意に基づいて、約束したとおりに人権を守ることが必須です。約束は約束なのです」と述べています。

☆ご入会・ご寄付をいただき有難うございました。

2012年11月～2013年2月末日(敬称略)

新規会員:

伊藤三恵子 加藤和子 根岸直子 中原多恵子
本間美智子 土屋幸子 大野正明 高木宏子
山崎節子 松岡悦子

寄付者:

清友会 Vivid Sound Corporation 原ひろ子
太田恵子 加藤聖子 鷺見八重子 矢島恭子
久我洋子 池田露子 阿部幸子 江尻美穂子
ランデス・ハル 福田文子 牧島悠美子
五十嵐康子 鈴木賀子 匿名1名



編集後記

情報を二つ……

- ★国連は1957年以来、毎年、世界の人々に向かってその年に考え、推進すべきテーマを「国際年」として発信している。今年は、2015年までの課題解決を掲げる“ミレニアム開発目標”の一つ、水問題を考える「国際水協力年」。安全な水の確保は、人々の生命をつなぐ絶対条件であるが世界にはまだ水資源と安全な水が確保できる環境が整わず、慢性下痢疾患や細菌性疾患による死亡率が高い地域が多くある。
- ★一方AFP通信によると、3月20日は「国際幸福デー」。昨年、ブータン王国が提案し193の加盟国の承認を得て国連が初めて総会決議した。そして各国は「教育および啓発プログラムを含めた形で祝うよう」推奨されている。(Y)

好評の講演会 第2弾のお知らせ

松本侑壬子先生を講師に迎えての講演会
3回シリーズ

「映画で学ぶ
世界の女性たちは
……いま」



第1回: 4月25日(木)
13:30～

★参加費 500円

★津田塾大学同窓会会議室
(JR千駄ヶ谷駅前)

第2回=6月 第3回=10月を予定しています。
皆様のご参加をお待ちいたしております!!

第21回 チャリティコンサートのご案内



ひびきの彩り

～リコーダーとチェンバロによる
バロック音楽の愉しみ～

2013年7月13日(土) 14:00～
東京オペラシティ 3F 近江楽堂



リコーダー:
太田光子



チェンバロ:
平井み帆



入場料: 3,500円

全席自由席

予定曲目: テレマン ソナタ ハ長調
ベッリントナーニ フォリア
ヘンデル 調子の良い鍛冶屋
ほか

主催: UN Women 東京

お申込は ホームページ・Tel/Fax (03-5809-8587) にて受付中!!

UN Women 日本国内委員会東京委員会

UN Women 東京 News Letter Vol. 7

発行人: 東京委員会会長 鷺見 八重子

発行日: 2013年 3月29日

〒135-0033 東京都江東区深川2-6-10
上原ビル 1F

Tel/Fax 03-5809-8587

<http://unwomentokyo.org>

E-mail: unwomentokyo@unwomentokyo.org